

〔資料〕

医師・歯科医師・薬剤師統計 東京都集計結果報告(令和4年)の概要

1 医師

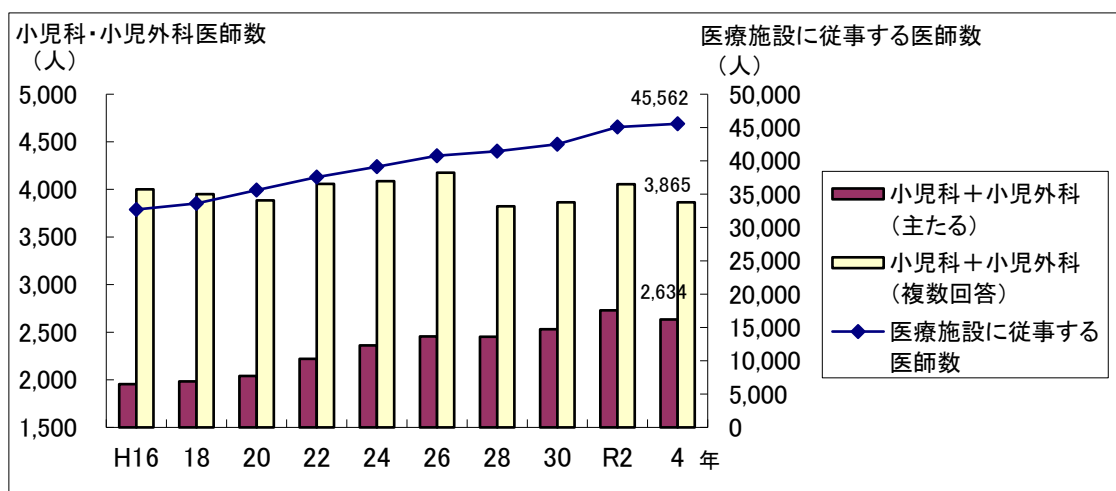
医師数は48,578人で、令和2年12月統計(以下「前回」という。)に比べて506人(1.1%)増加した。このうち、医療施設(病院・診療所)に従事する医師数は45,562人で、前回より484人(1.1%)増加した。(本文「Ⅱ 結果の概要」表1)

小児科と小児外科医師数合計(主たる)は3.5%減少、複数回答では4.7%減少

主として小児科と小児外科に従事する医師数の合計は2,634人で、前回の2,729人より95人(3.5%)減少した。

また、2つ以上の診療科に従事している場合の重複計上による小児科と小児外科に従事する医師数の合計は3,865人で、前回の4,054人より189人(4.7%)減少した。(図1、本文「Ⅲ 統計表」第12表、第13表)

図1 医療施設に従事する医師数及び小児科・小児外科医師数の年次推移

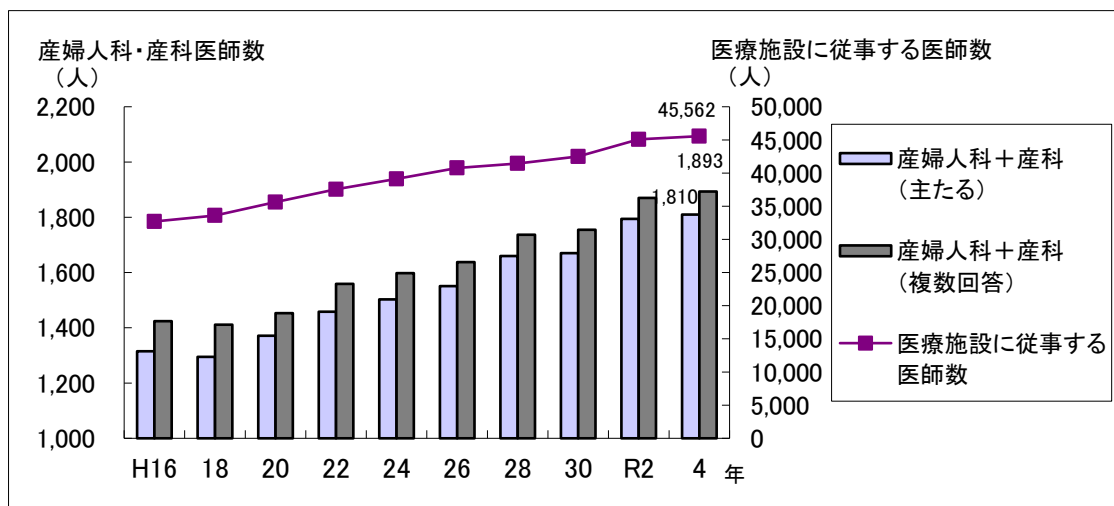


産婦人科と産科医師数合計(主たる)は0.9%増加、複数回答では1.2%増加

主として産婦人科と産科に従事する医師数の合計は1,810人で、前回の1,794人より16人(0.9%)増加した。

また、2つ以上の診療科に従事している場合の重複計上による産婦人科と産科に従事する医師数の合計は1,893人で、前回の1,870人より23人(1.2%)増加した。(図2、本文「Ⅲ 統計表」第12表、第13表)

図2 医療施設に従事する医師数及び産婦人科・産科医師数の年次推移



医師の約6割が病院の従事者

主に従事している施設の種別に見ると、「病院の従事者」は28,980人(医師全体の59.7%)、「診療所の従事者」は16,582人(同34.1%)で、医療施設に従事する医師は合わせて45,562人(同93.8%)となっている。

そのうち、「病院の従事者」の内訳をみると、「病院(医育機関*附属の病院を除く)の勤務者」が15,576人(同32.1%)で最も多く、次いで「医育機関附属の病院の勤務者」13,069人(同26.9%)である。

(本文「Ⅱ 結果の概要」表1、表2)

※ 医育機関

「学校教育法」において、医学又は歯学の教育を行うことに付随して設けられた病院及び分院をいい、大学研究附属病院も含む。

2 歯科医師

歯科医師数は16,890人で、前回より355人(2.1%)減少した。このうち、医療施設に従事する歯科医師数は16,293人で、前回より343人(2.1%)減少した。
(本文「Ⅱ 結果の概要」表5)

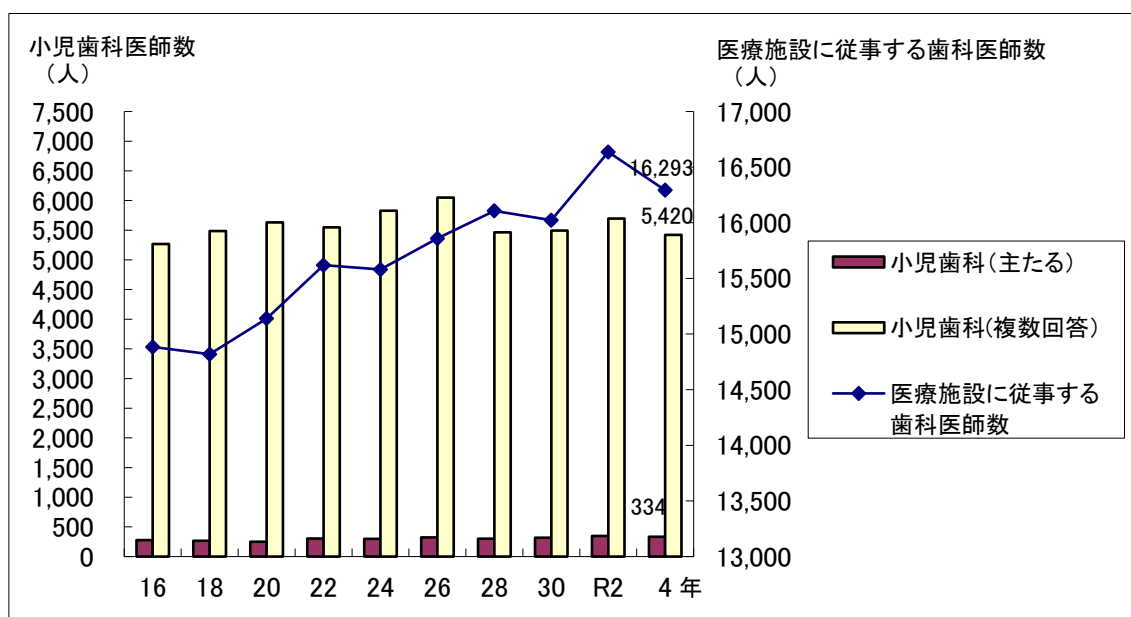
小児歯科医師数(主たる)は3.7%減少、複数回答では4.8%減少

主として小児歯科に従事している歯科医師数は334人で、前回の347人より13人(3.7%)減少した。

また、2つ以上の診療科に従事している場合の重複計上による小児歯科医師数は5,420人で、前回の5,695人より275人(4.8%)減少した。

(図3、本文「Ⅱ 結果の概要」表8、表9)

図3 医療施設に従事する歯科医師数及び小児歯科医師数の年次推移



歯科医師の約8割が診療所の従事者

主に従事している業務の種別に見ると、「診療所の開設者又は法人の代表者」が8,099人(歯科医師全体の48.0%)で最も多く、次いで「診療所の勤務者」5,728人(同33.9%)であり、「診療所の従事者」は合わせて13,827人(同81.9%)となっている。

一方、「病院の従事者」は2,466人(同14.6%)となっている。

(本文「Ⅱ 結果の概要」表5、表6)

3 薬剤師

薬剤師数は 53,527 人で、前回より 685 人(1.3%)増加した。

(本文「Ⅱ 結果の概要」表 11)

薬剤師の約5割が薬局の従事者

主に従事している業務の種別にみると、「薬局の勤務者（管理者以外）」が 18,577 人（薬剤師全体の 34.7%）で最も多く、次いで「医薬品製造販売業・製造業（研究・開発、営業、その他）に従事する者」が 10,900 人(同 20.4%)、「病院で調剤・病棟業務に従事する者」5,947 人(同 11.1%)の順となっている。

なお、薬局の開設者又は法人の代表者 1,816 人（同 3.4%）と薬局の勤務者 24,194 人（同 45.2%）を合わせた「薬局の従事者」は 26,010 人(同 48.6%)で、全体の約 5 割を占めている。

(本文「Ⅱ 結果の概要」表 11、表 12)